

1. 前回の内容
2. アイコンのあり方の整理

【情報提供】

- ・ピクトグラム・・・図のみでシンプルに表現されたもの
- ・アイコン・・・物事の機能を簡単な絵柄で記号化したもの
- ・ロゴ・・・ロゴマーク、ロゴタイプ、シンボルマークの3つがある
- ・シンボル・・・象徴

【意見】（一部抜粋）

- ・町ホームページ上にクリックすればつながるようなボタンとするアイコンをつくる。
- ・イメージは、SDGs。条例の各項目を図式化すると思っていた。
- ・町民に条例を知らせるための大切なツール。 ・プロセスとして町民参加型がいいと思う。
- ・実行委員会が組織になるのか、継続していくのかなど不透明な点があるため、アイコンをつくるタイミングは今ではないかも。

【結論】 アイコンについての話し合いは、今年度一旦終了とし、次年度以降、必要に応じて議論をする。



3. 自己紹介 前回到引き続き、自己紹介を行った。

4. 成果とまとめ

【意見】（一部抜粋）

- ・今年度のまとめは、行政だけでは作成することができないため、委員の協力もいただきたい。
- ・基本条例14条には、「主催者は、参加者の意見を集約し、参加者の意見に基づき結論を得る運営に努めます」とあるため、主催である行政がまとめるべきでないか。
- ・同条には、「主催者は、目的を明確にして効果的な話し合いになるように努める」とある。当初、座談会という目的があったが、実行委員会の合意のもと、座談会は実施しないという結論に達し、みんなで考えようということとなった。そのため、行政にすべてまとめをゆだねるのはなく、みんなでやるのが良いのではないか。
- ・広報の特集で今年度の実行委員会のプロセスを報告、来年度の実行委員メンバーを募集することで、町民への浸透の手段の一つとなり、またそれも一つの成果になるのでは。
- ・これまでの座談会においては、基本条例の浸透という目的は達成できていないように感じる。次につなげるのであれば、課題を明確にしておいた方がよいのでは。
- ・今回はこれまで通りの座談会は開催しないこととなり、自分たちで条例を学ぶプロセスがあったことから、実行委員会メンバーの中では条例が浸透したと言えるのではないか。そういった意味では目的が達成できたと言える。

【結論】 ・成果とまとめは、これまで精力的に資料作りをしてきた委員の一人が属する会社へ委託する。
・受託者が行政と協力しながら行い、また委員全員からアンケートもしくは聞き取りを行い、リアルな声を反映させる。

5. 次回 役場がファシリテーターを行う